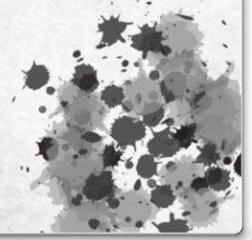


# ジョン・F・ケネディ

～ 夢を持つことの大切さ～



## 時代背景

アメリカ合衆国 35 代大統領であるジョン・フィッツジェラルド・ケネディ、通称ジョン・F・ケネディは、43 歳で米大統領に就任するという、過去 45 人の中で歴代 [ ] の記録をもっている。(2025.2 現在)

当時、共産党の率いるソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）を相手にした米国の冷戦の戦いは、世界各地で一触即発の様子を強めていた。ドイツからキューバ、さらには東南アジアにかけて、米国が支援する勢力とソ連が援助する勢力の間の緊張が高まり、壊滅的な核の応酬へと発展しかねない情勢となっていた状況で、“新しいアメリカの希望”となったのがケネディである。彼の思想・政策から“大きな夢を持つことの大切さ”を学んでいきたい。

## 偉人の生涯



John Fitzgerald Kennedy 1917～1963 アメリカ

主 著 『 勇気ある人々 』 『 英国はなぜ眠ったのか 』

Keyword 「ニューフロンティア」「史上最年少大統領」「キューバ危機」

西 暦	年 齢	生 涯
1917		有数な実業家の次男坊として誕生する ( <u>生まれつき背骨に障害があった…</u> )
1930	13	カンタベリー・スクールに入学 (体調不良を理由に翌年、転校する)
1935	18	プリンストン大学に入学するも、白血病の診断を受け入院
1936	19	ハーバード大学に入学 ( <u>父の尽力によるとされる</u> )
1941	24	陸軍への入試を試みるが、健康状態を理由に拒絶される
		海軍士官に任命される (父の配慮で戦場に赴かないワシントン海軍情報局に配属)
1946	29	前年に退役、下院議員の補欠選挙に立候補し両親の強力な支援もあり当選
1952	35	上院議員に出馬し、7 万票の大差で共和党候補を破る
1956	39	「勇気ある人々」を出版しピューリッツァー賞を受賞
1961	44	第 35 代大統領に史上最年少で就任 (就任当時は 43 歳！)
1962	45	[ ] (キューバ海上封鎖措置)
1963	46	テキサス州ダラスで狙撃され、死去

[参考] : ジョン・F・ケネディ大統領の名言からの学び <https://tomo8language.com/kennedy>



## 偉人の功績・思想

### ★「壮絶だった幼少期～青年時代」

アメリカでも有数の実業家の次男として生まれたケネディは、幼少期から病気がちで、生まれつき背骨に障害があり、寝たきりの生活も少なくなかったという。そんな時は [ ] をして過ごしていた。父の口癖は常に「[ ] になれ」であり、優秀な兄“ジョセフ”と比較されながら過ごした。父親の力を借りてハーバード大に入学し、卒業後は兄とともに [ ] に入隊するものの、身体の弱さを理由に現地には赴かない役職につく（父の手回しがあったとされる）。一方のジョセフは危険な任務を志願し、戦争により命を落とした。こうした戦争への参加経験が、後に大統領として成し遂げることになる、第3次世界大戦ともいわれる核戦争へ発展しかねなかったキューバ危機を、未然に防ぐことにつながったのかもしれない。

### ★ニューフロンティア

ケネディは、大統領に就任する際のスローガンを [ ] と掲げた。出馬に際して、西部開拓時代に自由と豊かさを求め、困難に立ちむかった [ ] 精神をあらためて国民に訴え、その自己犠牲を要求し、政治指導力の強化により国内改革と米国の国際的リーダーシップ確立を強調した。

#### Think ケネディが掲げたもの、皆が望むものとは…

「今晚私はかつて最後のフロンティアであったところに西に向かって立っています…開拓者たちは身の安全も快適な生活も、時には自分の命さえも捨ててこの地に新しい世界を築くためにやって来たのです…今日ではこうした戦いは終わった…アメリカのフロンティアは無いと言う人がいるでしょう…問題はまだ解決していません。」

「今日、我々はニューフロンティアに直面しています。1960年代のフロンティア、未だ知られぬ機会と道、未だ満たされぬ希望と脅威を孕んだフロンティア…私はあなた方の一人ひとりにこの新しいフロンティアの新しい開拓者となるように求めたい。」

ケネディは、①景気回復と経済成長、②高齢者への社会保障の充実、③教育に対する援助、④天然資源の保存、⑤高速道路建設、⑥住宅および地域社会の開発などの長期的な計画を掲げた。

ケネディが掲げた内容を参考に、現在の日本に必要な政策を考えてみよう

# 偉人から学ぶこと



We need men who can dream of things that never were

～私たちは今までになかったものを夢見ることができる人々が必要だ John F. Kennedy

「存在している物を見て、それがなぜ存在するのかを語ることは誰でも出来る。

私は存在しないものを夢見て、それがなぜ存在しないのかを語りたい」。

なんともケネディらしい言葉である。夢を語り、混乱するアメリカ情勢を引っ張ろうとした若きニューリーダーの姿が輝いて見える。

## Work ④ 『〇年後の自分を想像し、夢を描いてみよう』

小学生の頃は、よく“夢”を書かされたり、語らせられたりしたのではないだろうか。私も“水族館で働きたい”や“メジャーリーガーになりたい”と幅広い物語を描いてきました。18歳になるこの年に、もう一度自身の“夢”を思い描きたいと思います。心も成長しているでしょうから、目標は高くても結構ですが、現実的な夢を描きましょう。（イチロー選手が小学生で書いた作文を参照：右ページ）

### Point① なるべく具体的に描く

(参考) 「“一流”のプロ野球選手」 「中日ドラゴンズか、西武ライオンズ」 「契約金は1億円以上が目標」

### Point② 自分の現在地を把握する

(参考) 「去年の末、僕たちは全国大会に行きました」 「自分がナンバーワンと確信」

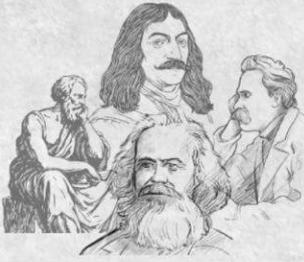
### Point③ 実現のための行動目標を立てる

(参考) 「中学、高校と全国大会に出て活躍しなければ…」 「活躍できるようになるためには練習が必要です」

### Point④ タイムマネジメント

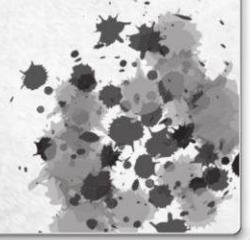
(参考) 「1週間で遊べるのは5、6時間程度です」





# ジョン・F・ケネディ

～ 夢を持つことの大切さ～



## 時代背景

アメリカ合衆国 35 代大統領であるジョン・フィッツジェラルド・ケネディ、通称ジョン・F・ケネディは、43 歳で米大統領に就任するという、過去 45 人の中で歴代 [ **最年少** ] の記録をもっている。(2025.2 現在)  
当時、共産党の率いるソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）を相手にした米国の冷戦の戦いは、世界各地で一触即発の様子を強めていた。ドイツからキューバ、さらには東南アジアにかけて、米国が支援する勢力とソ連が援助する勢力の間の緊張が高まり、壊滅的な核の応酬へと発展しかねない情勢となっていた状況で、“新しいアメリカの希望”となったのがケネディである。彼の思想・政策から“大きな夢を持つことの大切さ”を学んでいきたい。

## 偉人の生涯



John Fitzgerald Kennedy 1917～1963 アメリカ

主 著 『 勇気ある人々 』 『 英国はなぜ眠ったのか 』

Keyword 「ニューフロンティア」「史上最年少大統領」「キューバ危機」

西 暦	年 齢	生 涯
1917		有数な実業家の次男坊として誕生する ( <u>生まれつき背骨に障害があった…</u> )
1930	13	カンタベリー・スクールに入学 (体調不良を理由に翌年、転校する)
1935	18	プリンストン大学に入学するも、白血病の診断を受け入院
1936	19	ハーバード大学に入学 ( <u>父の尽力によるとされる</u> )
1941	24	陸軍への入試を試みるが、健康状態を理由に拒絶される 海軍士官に任命される (父の配慮で戦場に赴かないワシントン海軍情報局に配属)
1946	29	前年に退役、下院議員の補欠選挙に立候補し両親の強力な支援もあり当選
1952	35	上院議員に出馬し、7 万票の大差で共和党候補を破る
1956	39	「勇気ある人々」を出版しピューリッツァー賞を受賞
1961	44	第 35 代大統領に史上最年少で就任 (就任当時は 43 歳！)
1962	45	[ <b>キューバ危機</b> ] (キューバ海上封鎖措置)
1963	46	テキサス州ダラスで狙撃され、死去

[参考] : ジョン・F・ケネディ大統領の名言からの学び <https://tomo8language.com/kennedy>



## 偉人の功績・思想

### ★「壮絶だった幼少期～青年時代」

アメリカでも有数の実業家の次男として生まれたケネディは、幼少期から病気がちで、生まれつき背骨に障害があり、寝たきりの生活も少なくなかったという。そんな時は [ 読書 ] をして過ごしていた。父の口癖は常に「[ 1番 ] になれ」であり、優秀な兄“ジョセフ”と比較されながら過ごした。父親の力を借りてハーバード大に入学し、卒業後は兄とともに [ 海軍 ] に入隊するものの、身体の弱さを理由に現地には赴かない役職につく(父の手回しがあったとされる)。一方のジョセフは危険な任務を志願し、戦争により命を落とした。こうした戦争への参加経験が、後に大統領として成し遂げることになる、第3次世界大戦ともいわれる核戦争へ発展しかねなかったキューバ危機を、未然に防ぐことにつながったのかもしれない。

### ★ニューフロンティア

ケネディは、大統領に就任する際のスローガンを [ ニューフロンティア ] と掲げた。出馬に際して、西部開拓時代に自由と豊かさを求め、困難に立ちむかった [ 開拓者 ] 精神をあらためて国民に訴え、その自己犠牲を要求し、政治指導力の強化により国内改革と米国の国際的リーダーシップ確立を強調した。

#### Think ケネディが掲げたもの、皆が望むものとは…

「今晚私はかつて最後のフロンティアであったところに西に向かって立っています…開拓者たちは身の安全も快適な生活も、時には自分の命さえも捨ててこの地に新しい世界を築くためにやって来たのです…今日ではこうした戦いは終わった…アメリカのフロンティアは無いと言う人がいるでしょう…問題はまだ解決していません。」

「今日、我々はニューフロンティアに直面しています。1960年代のフロンティア、未だ知られぬ機会と道、未だ満たされぬ希望と脅威を孕んだフロンティア…私はあなた方の一人ひとりにこの新しいフロンティアの新しい開拓者となるように求めたい。」

ケネディは、①景気回復と経済成長、②高齢者への社会保障の充実、③教育に対する援助、④天然資源の保存、⑤高速道路建設、⑥住宅および地域社会の開発などの長期的な計画を掲げた。

ケネディが掲げた内容を参考に、現在の日本に必要な政策を考えてみよう



# 偉人から学ぶこと



We need men who can dream of things that never were

～私たちは今までになかったものを夢見ることができる人々が必要だ John F. Kennedy

「存在している物を見て、それがなぜ存在するのかを語ることは誰でも出来る。

私は存在しないものを夢見て、それがなぜ存在しないのかを語りたい」。

なんともケネディらしい言葉である。夢を語り、混乱するアメリカ情勢を引っ張ろうとした若きニューリーダーの姿が輝いて見える。

## Work ④ 『〇年後の自分を想像し、夢を描いてみよう』

小学生の頃は、よく“夢”を書かされたり、語らせられたりしたのではないだろうか。私も“水族館で働きたい”や“メジャーリーガーになりたい”と幅広い物語を描いてきました。18歳になるこの年に、もう一度自身の“夢”を思い描きたいと思います。心も成長しているでしょうから、目標は高くても結構ですが、現実的な夢を描きましょう。（イチロー選手が小学生で書いた作文を参照：右ページ）

### Point① なるべく具体的に描く

(参考) 「“一流”のプロ野球選手」 「中日ドラゴンズか、西武ライオンズ」 「契約金は1億円以上が目標」

### Point② 自分の現在地を把握する

(参考) 「去年の末、僕たちは全国大会に行きました」 「自分がナンバーワンと確信」

### Point③ 実現のための行動目標を立てる

(参考) 「中学、高校と全国大会に出て活躍しなければ…」 「活躍できるようになるためには練習が必要です」

### Point④ タイムマネジメント

(参考) 「1週間で遊べるのは5、6時間程度です」

